

F 3.13

67/14
C



在住一世の第一聲

我々オハヨー州在住乃一世は偶然一タ乃懇話會合の上から時々集まつて時局下に相互の經濟的又は精神的の便宜を料るとともに西部各地の友人へは一世組の生活の模様を知らせ、一方には州内一牛を突破する二世の將來を良導し得る機關に供したいといふ切望から時々茶話會を催すこと、となりました。尚ほ交渉の結果俱市WRA新発行の英文通信誌乃一部を譲受けて日本語で発表する機關に供することに相談がまとまりましたので、今月の

今日、我等の第一聲を以て各地同胞にまみる次第であります。

我等が微志のある所は戦時中のみでなく戦後同胞がどうして善處したらよいか、又其準備の如何であります。

單に一世の前途のみでない二世の教育と善導は身、自由人であるとはセンターの人であるとは關係はらず其々に憂慮せざるを得ないものがあります。

漫然と成行きにまかすことは我が民族の將來を誤る態度です。

いかなる難境にあつても善處の第ある大國民の度量今こそ發揮すべきであるといふ確信の上に立ちまして廣く同胞に我等が赤心のある所を披瀝し本紙の日本語欄を皆さん

の机上に進呈します。

熱練農家歓迎

オハヨー農科大学教授
イ、エル、デーカン

以前西海岸に住んで居られました。皆様も我々中部に暮して居るものと別段異つた事は、御ありにならぬと思ひます。係し、我々が西部日常の事を詳しく存じません事を考へますと、皆様も此方の事を研究なされ度には勿論と存じます。

オハヨー州はミシガン州の南に位し、其南にはケンタッキーがあり、北にはカナダが存して居ります。ミシガン州は湖水で取り巻かれ、オハヨーの北境はイリー湖です。太平洋沿岸には水も沿はられた、皆様はミシガン及オハヨーの両州

には大小の湖水があることを御知りになる要があると思ひます。特にミシガン州には無數の湖水があります。

オハヨー、イリノイ、インディアナ其他諸州の遊び場と稱へられて居ます。

オハヨー、ミシガン兩州は玉蜀黍、豚、牝牛、良種牡牛等の産出

地帯に屬する重要な州であります。加州よりは多數の鶏鳥を産出します。

オレンジヤグリーン、フルーツは生産しますが、ソーイビズやビーフステーキの産出は沖

も大したものですよ。

オハヨー及びミシガンの氣候に關心を持らるるは自然の事です。

此の地方には雪も降り雨も降り、風も吹き

本誌愛諸者諸君
を迎へて

WRA中西部監督
フイステヤ

『中西部開拓者』雜誌
第一号の発行に當りて、
私は定期発行を計画
するに於ての私達の意
のある所を諸君に告
げたい。

オハヨー、ミシガン、ケンタ
キー、西バージニア諸州及ペン
シルバニアと紐育両州の西
部を含む我々の監督地
域内にあつては一般民衆は
諸君に好意好感を有し
機会を求むる諸君には
之を捉へる事可能なる
者へである。

次に諸君の親戚
友人又は隣人であつて既に
此地方へ来られてゐる方々の
ニュースを諸君に知らせた

いのである。是等の人々
の仕事又は結婚、出生の
件や、新しい土地へ来てど
んな成功を克ち得てゐる
か又新生涯に適応する
ために奮闘努力して
ゐる模様等を諸君に御
知らせしたいのである。
我々は中西部に於ける
導する情報部として諸
君の胸中にいく疑問を
正直に御答へして便宜に
供したい。

尚本誌は已に當地方
へ来て居る人々へ仕事、事
や周囲の模様など目新
らしい必要のニュースを御
傳へするつもりです。

新来者諸君へ實地
の経験談を發表する
機關に本誌を提供し
側ら是等経験を運

いて他を激勵又は慰
安する事を得れば幸
甚です。

本誌は中西部の生活
を殊更に香ばしく書
てたり或は悲觀的
に書いて事實を枉げ
て報道する者人は毛
頭ない。我々の努力の目
的はたゞ正直にありの
まゝ申述べて諸君の
判断にまかせる外はな
いのです。

私と當地方の未
住者諸君との個人的
關係は極めて満悦で、
一世と二世とに私達
の事務所と好成绩の
連絡をとつてゐる事を屢
々表明してゐる。

尚將來と良好な關
係が持續される上にも

一層の好果を擧げうる
事と信じます。

以上の理由を基いて諸君
が奮つて本誌『中西部
開拓者』の愛讀者た
らんことを熱望する次
第です。

どうしたならば諸君を
ヘルプ出来るか、諸君
から遠慮のない御指示
の手紙を頂きたい。

我々は最善をつくして諸
君に酬ゆる者であります。

敬具

WRA中西部監督
ハロルド・エス・フイステヤ

◎オハヨー會隆盛
クリブランド市在住同胞
一世より成るオハヨー會は
二週間毎の日曜日に午
後三時よりプロスペクト街二六
二番國際會館で開催。

(一頁より續く)

まず、農業の多くは灌
漑に依らず、自然雨量
に依りて收穫を得ます。
時々雨が多過ぎたり、
少な過ぎたりする事の
有るは申すまでもない
事です。

マーク・トウェンは「人は
能く天候の事を彼れ是
れ言ふが天候の事を言
れ言ふが天候に就ては
何もした事が無い」と
申しましたか、オハヨー、ミ
シガン両州に取ては、實
に其の通りです。

加州農家の方々には
何半此の点に就て御
考へ違ひのない様に願
います。

我々は皆さんと同じ
様に、長生きをし、結
婚もし、小供を育て、
面白い事も、皆さんに
負けない程貯金も致
します。我々は湖濱の

ら貝を拾つたり、山の寫
眞を撮つたりして、家庭
内に閑籠つて居る、氣
の毒な人たちに對して、
此の散策廻遊の愉快
を自慢して居るもので
す。人世を楽しく暮
すには是非加州でなければ
ならぬと思ふ事はな
いと思ひます。のみな
らず、オハヨー州やミシガ
ン州に住む我々の内
には、加州へ往つても生
活の道は得られまいと
思ふものも澤山あり、
我々は此處が何より
も住み心地が善いと信
じて居ります。而して、
中部にはもつと大勢力を
振つても生業の道は充
かあつてゐるから、加州を
去られ、收入の道を先は
れた方々は、オハヨーとミ
シガンに來り、戦争中
我々の農園に働か
實驗された上、中部が

善いか悪いかを決定さ
れては如何です。センタ
ーに居られては、外の事は仲
々わかり難いですが、
一日一出て來て御覽にな
れば、實際の事が御わ
かりになりますと思ひ
ます。冬期我々が何
も云ふ事をすると御
尋ねがあるかも知れま
せん。私共の大きな納
屋には家畜が一杯居
り、私共は乳牛の乳
を絞る、鶏に物を食
はせ、機械を修繕したり
して、翌年の準備をす
るのです。其れから又
私共の内に冬は朝晩
を夜邊くまでレディオ
を聴く者も有ります。
私共の家屋の敷数は
先驅者時代に建築さ
れたもので、多數の家
に浴室がないのは、浴室
使用流行以前に建
築されたのは戦争の

爲材料が得られな
いからです。其れから本當
に在らないかも知れませ
んが、借家人や、季節
労働者の内には入
浴の必要はないと信
居るものも有ります。
斯ふふ人たちの考へ
を度へさす様に過
折つて頂き度いもので
す。

皆様は慥にミシ
ガン州の農家に衛生
に係る教訓を學べ下
さる事が出来ると言
います。之は大した皆様の
貢獻で御座居るま
す。

更に又、我々は皆様
から作物の分類や何
造の方法や、美術的
感覺力から來る秩序
や、仕事に對する忠実
な心と、善く働い

我々は皆さんと同じ
様に、長生きをし、結
婚もし、小供を育て、
面白い事も、皆さんに
負けない程貯金も致
します。我々は湖濱の

我々は皆さんと同じ
様に、長生きをし、結
婚もし、小供を育て、
面白い事も、皆さんに
負けない程貯金も致
します。我々は湖濱の

我々は皆さんと同じ
様に、長生きをし、結
婚もし、小供を育て、
面白い事も、皆さんに
負けない程貯金も致
します。我々は湖濱の

(四頁下段へつづく)

先驅者 中西部同胞の章を 丹下榮次郎翁の — 實驗談 —

二に見て日本を踏み出し自由の大天地北米へ渡られたが渡米の方から云つてもパイオニヤー組の一人。

大いこの日本人は榮

港にとまつたが我が

丹下翁オット失敗、ま

だ其頃はニヤ平か届

いた計りの美青年、

うせ米國自由郷を尋

ねてハルグ渡米したから

は排日風の吹きまくる

加州で不自由を忍んで

暮すよりも東部に出て

貞の米國氣分を味

はへてみたいと決心し、

桑港で行李をとくか

とかぬ中にロッキーを

越えミシシッピーを渡

たりオハヨー州まで當

時としては大奮發の

長途旅行。

支那食店のさきかけ

いあくの商賣に手

を出し市内各所で客

節を御研究の末一九

〇〇年にクリブランド市

最初の支那食店を

開業、潔癖な日本

人式の發揮と圓滿な

客扱ひぶりに忽ち繁

昌、敬慕したは當の支那人

諸君、日本人に着般

をとられては大變だとい

かちに同業を開業し

たといふ。支那めしのパイ

オニヤー。

行商から商會設立

丹下さんは退いて新

工風をめぐらし、茶とコ

ーヒーの新商業戦線

を展開し、此ラインでも

パイオニヤを發揮され

た。支那めしの屋をお國

のに賣つて其金で奇技

にも馬一頭にワゴン一

を買つて新商品を積

んで各地方への御得

意筋を開拓し儲け

たお金で開店した。

(以下次号へ)

(三頁よりつづく)

得る心の満足など就

き、大に學び授けのイ

す。

オハヨ、ミシガン等中

部には精勤、努力、

正確さなど欠く、

多數の勤人があり

ますから、彼等に範を

示して頂き授けたい

皆様は、人類同胞

の爲め、又我々の爲め

農業上、科學上、大に

貢獻して下さる事が

出来ると思ひます。

最後に今一度操

返へして思上げます。

オハヨー州やミシガン州

の事を知らずに、來て住

つて見る外に方法は

ありません。新聞や

書籍物を讀みおたけ

は充分に由かり得

ないのであります。(終)

アメリカ土にいや咲く桜哉

ハヨー州日本人の草
今の一人、四十三年前
にクリブランド市へ早
く、ちびネスを開いて
以來引續いてある丹下
榮次郎さんに翁なほつ
ける人に笑はれるほど
の御若さを振り。それ
もチャント七十歳と戸籍
帳に書いてあるが誰が
見ても四十五を越えて
あるとは受取られぬ。其
等だ頭には白髪一本
ない、い、い、い、黒光り
御顔は壯年の圓滿
は肉つきタルマさんが若返
へりのホルモン剤を吞ん
だ御恰好。

丹下さんは一度半世

紀前に生れ故郷の名

古屋の金の競鋒をあ

COPY

Company 382
U. S. N. T. C.
Great Lakes, Ill.
March 31, 1945

Mr. Dillon S. Myer, Director
War Relocation Authority
Barr Building
Washington, D. C.

Dear Mr. Myer:

This letter is being written in accordance with the requirement that departing employees write you directly a critical analysis of their experience with the W.R.A. I severed my connection with the agency to enter the Navy on March 15.

My position was that of AREA INFORMATION SPECIALIST, and my job was to be that of creating favorable public relations or community acceptance in the Great Lakes area and of attractively publicizing the area to the centers, thereby inducing evacuees to settle there.

It was I who edited "Midwest Frontiers", which you will remember for the infamous Bathtub Story. This first and last edition was distributed without first being censored in Washington because of the unwillingness, rightly or wrongly, of the then area director to take orders from the Reports Division. The head of the Reports Division had orally called for pre-publication clearance in Washington, but no administrative order was forthcoming until after the explosion. The fault lay in some division in Washington which should promptly have implemented the best thought of the Reports Division with an administrative order.

For many months this writer was hampered in doing the best job he could in the field for which he was trained by the insistence by the area director that he act as a relocation officer instead of a reports officer. This situation was necessitated by the tight manpower situation, which made it necessary for the writer first in Cleveland and later in Buffalo to handle interviews with evacuees, make job placements, and do

the myriad other jobs of a relocation officer. A closer working arrangement between the Reports Division and the field offices may have sooner led to pressure to get me back to the job for which I was trained and hired and for which there was a great need.

I would like here to mention something that distressed us reports officers in the field early in the history of the W.R.A. That was the insistence upon documentation with an eye toward history when any unfavorable incident took place. Newspapers don't wait for history books to be written before getting a story. They use the best material they can get at the moment. It seems to me we were not dynamic enough in getting out the right information, such as at Tule Lake, and might have been spared some bad moments in the newspapers.

Another matter that has distressed this writer is the lack of a check in the hiring of personnel. It seems to me there should be some scientific method for selection of personnel which would prevent the hiring of, for example, a psycho-neurotic as a relocation officer, or a completely ineffectual preacher. I can see the wisdom of permitting the area supervisor to make the choices, but there ought to be an effective method of weeding out the chaff after a trial period. You can't run as complicated a program as ours and stay out of trouble with inferior personnel.

I should like to mention the strength the director has given the W.R.A. Though this writer had never met Mr. Myer, his reputation as a level-headed, strong individual permeated through the organization and made one proud to be serving under him. There was always a feeling that he would help us weather our worst storms.

In more recent months, the information situation has shaken down and has become obviously better run. It has been possible for the writer to give all his time to information, and production has sharply increased.

In this connection I should like to give credit to my superior, Mr. Robert M. Cullum, who gave me virtually a free hand in the preparation of pamphlets and information material.

I might mention a policy we pursued in our area in regard to newspaper publicity. We prepared no blanket press releases for distribution throughout the area. On the contrary, each district was instructed to call on the newspapers only when a natural story came to our attention. At no time was any effort made to foist stories. The result has been favorable. Papers which were indifferent or hostile became our champions, and in Cleveland the

Press, which had been especially hostile at the time of the bathtub incident, later went to town for us in opening Western Reserve University to Nisei.

All things considered, I firmly believe the W.R.A. has done a creditable job under difficult circumstances.

I shall always feel a glow of pride in having been able to work on a program of such importance to our national way of life.

Sincerely yours,

/S/
Harry Weiss, A.S.